

# 長浜市立湖北病院 地域医療連携室だより



地域住民のための病院づくりを推進し、地域包括医療・ケアを実践します。

令和8年1月号 No.30

- へき地医療拠点病院
- 救急告示病院
- 病院群輪番制病院
- 在宅療養支援病院
- 地域包括医療・ケア認定施設
- 臨床研修病院(協力型)

## 新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。  
謹んで新春をお祝い申し上げます。



長浜市立湖北病院 副院長兼地域包括ケア事業部長 富樫 弘一



皆様におかれましては新春を穏やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、入退院ベッドコントロールに関して、コマンドセンターを開設、長浜の二病院と連携して効率的な病床運営を目指してまいりました。その結果、当院の病床利用率も、おおむね90%以上で推移し、一定の効果が得られた一方で、満床状態が続く、近隣の先生方からの入院のご要請に、なかなか対応できなかった時期もございました。その節は、ご迷惑をおかけし、誠に申し訳ありませんでした。

本年においては、当院の病床は地域の共通資源であることを再認識し、質的量的にご満足いただけるような運営を心がけてまいりますので、引き

続きのご高配をよろしくお願いいたします。

昨年の流行語は「働いて(×5)まいます」、漢字は「熊」でありました。余談ではございますが、もともと「能」自体が熊を表す象形文字とのことで、そこに火を表す「れんが」という部首を付け、熊のどう猛や激しさ、燃え殻から連想される黒さなどを加味して「熊」と転じたとの事(諸説あり)です。病院が健康を害した方々のために「働く」事は当然ではありますが、その働きだけが「×5」となるほど病気の方が増えるようでは健全な状態とは言えません。

そこで本年は、当院の持つ「能」を強化活用し、健康啓発活動、健診への取り組み、外来・入院を含めた診療機能、在宅復帰支援、透析や訪問診療・看護をはじめとした在宅生活支援など「×5」の働き方を駆使して、地域医療に貢献することを目指して努力してまいりたいと思っております。決して、真っ黒に燃え尽き「熊」とならぬよう、職員の健康管理にも留意いたしますので、ご遠慮なくご要望をお聞かせいただけますと幸いです。本年も、変わらぬご指導とご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

最後になりましたが、本年が皆様にとって、幸多い一年となりますよう祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



長浜市立湖北病院 地域包括ケア事業部 地域医療連携室

〒529-0493 滋賀県長浜市木之本町黒田1221 TEL 0749-82-3360(直通) FAX 0749-82-3646(直通)

受付時間 午前8時30分～午後5時00分(水曜日・日曜日・祝日・年末年始を除く)